

令和5年度新たな都市活力推進特別委員会中間報告書 構成(案)

1 付議事件

オープンイノベーション等による企業支援や誘致促進、グローバル都市の実現、文化芸術創造都市や観光・MICEの推進等に関する事。

2 調査・研究テーマ

企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現について

3 テーマ選定の理由

新型コロナウイルス感染症も5類感染症に移行され、感染症拡大前の生活に戻りつつある中、持続可能な横浜経済を実現するためには、国内外企業の誘致やスタートアップへの成長支援、生産年齢人口の呼び込みなど新たな担い手の創出や多くの人が集まるイベントを活用した戦略的な宿泊・回遊促進策への取組が喫緊の課題となっている。

そのためには、都心臨海部を核として、産学公民の多様なプレイヤーと連携し、横浜の優れたビジネス環境や立地メリットを積極的に発信することで、持続的に新事業を生み出し、国内外から人・企業・投資を呼び込み、稼ぐ(稼げる)ビジネス環境を整えること。また、イベント主催者や商業施設等の民間事業者と連携したプロモーションなどを行い、イベント前後の回遊を促進させるとともに、宿泊事業者と連携し、イベント開催時の宿泊につなげるなど、様々な事業者が参画し、にぎわい創出及び稼ぐ(稼げる)仕組みづくりが必要となってくる。

そこで、令和5年度はこのテーマに基づき、本市の取組の検証、他都市の取組の調査及び有識者からの意見聴取などを実施し、多方面に調査、研究を行うこととした。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和5年6月5日 委員会開催(第1回)

ア 議題

令和5年度の委員会運営方法について

今年度の委員会運営方法について意見交換を行った。

今年度の調査・研究テーマを「企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現」についてと決定した。

イ 委員意見概要(当日の委員意見を記載)

(2) 令和5年9月25日 委員会開催(第2回)

ア 議題

調査・研究テーマ「企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現」について

イ 委員会開催概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】経済局・にぎわいスポーツ文化局

(ア) スタートアップの創出・イノベーションの推進 (説明概要を記載)

(イ) にぎわい創出の取組 (説明概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(3) 令和5年11月30日 委員会開催 (第3回)

ア 議題

参考人の招致について

イ 委員会開催概要

本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。

参考人：一般社団法人Glocal Solutions Japan

代表理事 深野 裕之 氏

案件名：持続可能な横浜経済を実現させるために必要な取組について

(4) 令和5年12月1日 委員会開催 (第4回)

ア 議題

持続可能な横浜経済を実現させるために必要な取組について

イ 参考人講演概要 (講演概要を記載)

ウ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(5) 令和6年2月6日 委員会開催 (第5回)

ア 議題

調査・研究テーマ「企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現」について

イ 委員意見概要 (当日の委員意見を記載)

(6) 次回委員会 (第6回)

当日の概要を記載

5 企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載